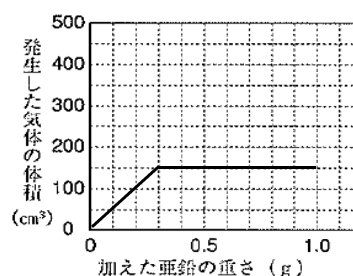


解答

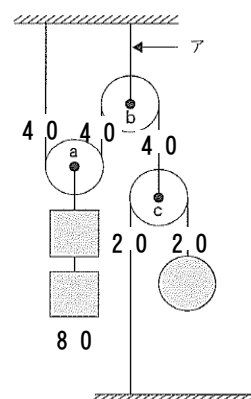
- 【1】 (1) $D \rightarrow C \rightarrow B \rightarrow E \rightarrow F \rightarrow A$
(2) イ
(3) 不整合面
(4) 年代 イ 生物 ク
- 【2】 (1) イ
(2) ア
(3) ア
(4) ギョウカイ岩
(5) イ
- 【3】 (1) E・F
(2) E
(3) C
(4) イ
(5) エ・オ
- 【4】 (1) ウ
(2) 1 2 0
(3) イ
(4) A イ B エ
(5) 3 6 0
- 【5】 (1) 4 0
(2) 3 5
(3) 2 0
(4) 8 0
(5) 1 0
- 【6】 (1) 水上置換法
(2) ア・エ
(3) 右図①
(4) イ
(5) 1 4 0



(圖①)

解説

- 【5】 (1) 図1の輪軸がつり合っているから、 $\blacksquare \times 25 = 50 \times 20$ となり、 $\blacksquare = 40 \text{ g}$ ($\frac{50 \times 20}{25}$) です。
- (2) 図2の輪軸がつり合っているから、 $(\blacksquare + \blacktriangle) \times 20 = 60 \times 25$ となり、 $(\blacksquare + \blacktriangle) = 75 \text{ g}$ ($\frac{60 \times 25}{20}$) となります。したがって、 $\blacktriangle = 35 \text{ g}$ ($75 - 40$) です。
- (3)・(4) (図②) のように力が加わります。したがって、 $\bullet = 20 \text{ g}$ 、アに加わる力の大きさは 80 g ($40 + 40$) となります。
- (5) (図②) で 80 g を 120 g として考えます。したがって、cの滑車の右側には 30 g の力が加わるので、 10 g ($30 - 20$) のおもりをつるせばつり合います。
- 【6】 (3) 図2のグラフから、塩酸 (A液) 100 cm^3 で 0.4 g の亜鉛が反応して 200 cm^3 の水素が発生することがわかります。したがって、A液 75 cm^3 では、亜鉛が 0.3 g ($0.4 \times \frac{75}{100}$) 反応し、水素が 150 cm^3 ($200 \times \frac{75}{100}$) 発生します。
- (5) (4)からA液とB液は1 : 2で完全中和することがわかります。したがって、A液 100 cm^3 とB液 60 cm^3 ではA液 70 cm^3 が残り、水素が 140 cm^3 ($200 \times \frac{70}{100}$) 発生します。
-
- (図②)



(図②)